

令和7年度  
「こうとう未来ミーティング」

実施報告



江東区 政策経営部 広報広聴課

令和8年3月

# 令和7年度「こうとう未来ミーティング」概要

## 【1、目的】

区政運営の参考とするため、区民からのご意見やご提案を区長が直接伺い、開かれた区政を推進する。

## 【2、実施形式】

グループワークによる意見交換

## 【3、開催日程・テーマ・開催場所】

日程	テーマ	会場
5月29日(木)	防災対策	江東区防災センター 災害対策本部室
6月28日(土)	子育て	こどもプラザ 多目的スペース1
7月12日(土)	地域福祉	総合区民センター サブ・レクホール
7月23日(水)	未来の女性活躍	江東区文化センター 展示室
8月23日(土)	観光推進	深川東京モダン館 多目的スペース

## 【4、参加者定員】

各回25名程度（区内在住・在勤・在学）

- 会場参加者：20名程度
- オンライン参加者：5名程度

## 【5、参加者募集・受付】

- 区報、HP、SNS、ちらし等による募集
- 申し込みフォーム、電話、窓口等による受付（定員を超える申し込みがあった場合は抽選）

※7月23日(水)「未来の女性活躍」については、区内に所在する高等学校の女子生徒を招待し、実施

A vertical bar on the left side of the page with a color gradient from light blue at the top to green at the bottom.

## 各回の実施報告

## 令和 7 年度第 1 回「こうとう未来ミーティング」実施結果

テ ー マ : 防災対策

開 催 日 : 令和 7 年 5 月 29 日(木曜日)

会 場 : 江東区防災センター 災害対策本部室

参加人数 : 19 名(内、オンライン参加 1 名)

実施形態 : 参加者によるグループワーク(意見交換)



### ■主なご意見・ご提案等

#### 【グループ 1】

- ・若者の防災意識が十分でない。ハザードマップも知られていないため、地域での意識啓発を進めるべき。
- ・衛生面などの観点から、小さい子ども連れの家庭が一般的な避難所では過ごしにくい。子ども専用のスペースの確保が必要である。
- ・防災士資格を持っていても防災士同士のつながりが弱い。もっとつながりを積極的につけていくべき。
- ・転入者が地域住民とつながりにくい状況である。住民同士で助け合っていくためには、つながりが必要である。

#### 【グループ 2】

- ・高層マンションでの訓練で全員が参加することは非現実的である。フロアごとに訓練を行うのがいいのではないか。
- ・訓練を継続的に実施していくことが重要である。そこでコミュニケーションを増やしていくことができるのではないか。
- ・マンションに住んでいる高齢者や外国人、在宅避難をすることができない要配慮者を受け入れるような避難所があるといい。
- ・避難所運営を被災者任せにしないために、外部（他地域の専門職の方など）からの支援体制が必要である。
- ・地域でのコミュニケーションが増えるため、地域のイベントと防災を組み合わせる活動をしてほしい。

### 【グループ3】

- ・介護が必要な人、外国人、子どもなど支援が必要な人への避難の仕方や在宅避難の指導が足りていない。
- ・区内の学校で働いていた経験から、子どもたちにもっと防災訓練を行う必要がある。
- ・メンバー4人の中でも防災への関心や経験がバラバラではあるが、その声を区に、どうやって届けるかが課題である。
- ・コミュニティの場がもっと増えるといい。
- ・防災は、ソフト面において、お互いを思いやったり、手を差し伸べて助け合ったりすることが大事である。「つながり」が重要。
- ・配慮を必要とする方は、備蓄しているものがあったとしても自分で持ち出せない人もいないか。
- ・子どもたちが災害時に慣れない凸凹の道でどうやって避難できるかが心配である。
- ・連絡体制のところ、自立できる人が自立できないと、周りの人を助けにくくなる。
- ・区の職員も災害時は大変だと思うので、自分たちが助ける立場になるのではないか。

### 【グループ4】

- ・戸建とマンションでは避難のやり方が違うため、それぞれにあった準備が大切である。
- ・地域によって防災の進み具合に差があるため、お互いに情報を共有して助け合えるようにしたい。
- ・行政だけでなく、警察の方とも協力し、避難のルール・マニュアルを設けると良い。
- ・各学校に設置してある備蓄品の入った防災倉庫は地面に直置きになっているため、水害が発生した場合どうするのか。3階の空き教室を使うなど早急に対策が必要である。
- ・避難所の運営に関しては、中高生が大きな力になる。学校教育の中で防災教育について積極的にやっていただき、今後中高生が活躍できる場を増やしてほしい。

## 令和 7 年度第 2 回「こうとう未来ミーティング」実施結果

テ ー マ : 子育て

開 催 日 : 令和 7 年 6 月 28 日(土曜日)

会 場 : 江東区こどもプラザ 多目的スペース 1

参加人数 : 20 名(内、オンライン参加 2 名)

実施形態 : 参加者によるグループワーク(意見交換)



### ■主なご意見・ご提案等

#### 【グループ 1】

- ・子育て環境について、そもそも、日本では働く時間が長すぎる。
- ・ベビーカーや抱っこ紐で公共交通機関に乗った際、周りからの視線が冷たく嫌な思いをすることもがあるので、子育て専用車両などがあるといい。
- ・「こどもにやさしいまちにしよう」といったメッセージをパンフレット、区報、学校教育の中で発信してほしい。
- ・江東区は障害児に関する相談支援が足りておらず、3か月待ちの状況。また、障害福祉のサービスについて、説明動画やアプリなどで情報を説明していくことが必要。
- ・区立幼稚園や小学校に、より力を入れるべき。ひとクラスの児童数が多すぎるので 35 人から減らす、サブ担任やサポーターの配置、英語教育など、公教育の充実を図ってほしい。
- ・成長と共に障害のある人と分かれた環境になってしまうので、ともに成長できる環境が必要。

#### 【グループ 2】

- ・ファミリーサポートや産後ケアの予約方法が電話しかないので、アプリなどで簡単に予約が出来るようにしてほしい。
- ・区役所に保育園のことなどで相談に行くと、通路が狭くベビーカーが通りづらい。
- ・小学校や幼稚園の PTA は、親の負担が大きい。

- ・小学生にとってタブレットが重たく、体に負担がかかっている。
- ・幼稚園の教員不足により、サポートが行き届いているか不安。
- ・保育園で3、4、5歳児になった時に園の狭さなど、環境の不安がある。幼稚園の跡地の活用や保育園のリニューアルを検討してほしい。また、説明会だけでは分からないので、幼稚園・保育園に実際に見に行ける機会がほしい。
- ・夏場、プールや水遊びが出来るよう、暑さ対策を考えてほしい。
- ・猿江恩賜公園にカフェや自動販売機を設置してほしい。収益を公園の整備や機能強化に活用することもできる。
- ・児童館の安全面について、乳幼児と大きいこどもたちの仕分けができていない。
- ・幼稚園や保育園などについて、ママ同士が交流・相談できる場がほしい。

### 【グループ3】

- ・父親向けのゆりかご面接を実施するべき。また、出生届時に、こどもの安全や、赤ちゃんや小さい子用の救命救急の知識について、父親に周知してほしい。
- ・障害児を持ち、医療ケアをしている親御さんの負担感が軽くなるよう、障害児の預かりについてのフォロー体制を整えてほしい。
- ・障害者の放課後施設に対する運営補助を手厚くしてほしい。
- ・王子にある北療育医療センターのような施設を、各区に1個ずつ作ってほしい。
- ・夜間の校庭開放など、こども達が思いっきり運動できる場所を確保してほしい。
- ・公園の一部にフェンスを設置しボール遊びが出来るようにしてほしい。

### 【グループ4】

- ・全体を通し、江東区は「みずべ」をはじめ、施設、ハードが揃っていて非常に子育てがしやすい。
- ・父、母が子どもをそれぞれ別の園に送迎している家庭がある。保育園の兄弟加点1点は少ないのではないかと。兄弟は必ず同じ保育園にするという施策を作してほしい。
- ・子育て支援に関する広報の充実。サービスを知らず、活用できていない。
- ・私立幼稚園に課題があった際、行政指導できないことに不安がある。ソフト面でできる対応を区でもしっかりとっていただきたい。
- ・次回こうとう未来ミーティングがある際には区の関係部署全ての方に参加していただき、意見交換ができるようにしてほしい。
- ・児童発達支援センターは現状有償。しかし、同じようなお子さんでも保育園に通っている子は無償のため、制度の改正を検討してほしい。
- ・こどもを増やすための取組には、年齢や障害の有無などの環境に関係なく、シームレスな支援が必要。

## 令和 7 年度第 3 回「こうとう未来ミーティング」実施結果

テ ー マ : 地域福祉(主に、高齢者の福祉や障害者の福祉)

開 催 日 : 令和 7 年 7 月 12 日(土曜日)

会 場 : 総合区民センター サブ・レクホール

参加人数 : 19 名(内、オンライン参加 1 名)

実施形態 : 参加者によるグループワーク(意見交換)



### ■主なご意見・ご提案等

#### 【グループ1】

- ・合理的配慮について、企業等に対して情報提供や監査、指導等を行うことなどにより障害を持った方にとって良い環境につながるのではないか。
- ・重度の障害があるこどものデイサービスが断られてしまう。また、エリアによってはデイサービス自体が少ないため、地域に関係なく切れ目のない支援が必要。
- ・脳卒中による障害を持った方は、退院後、継続したサポートを自分で探さなければならぬい難しさがある。
- ・障害を持ったこどもの親への支援は所得制限が厳しいため、所得制限の撤廃を要望する。
- ・ピアサポーターが増えることにより、障害を持った方たちが暮らしやすくなる。また、ピアサポーター登録制度を作ると面白いと思う。区がピアサポーター養成講座を開催し、修了した方たちは「区認定ピアサポーター」に登録できる仕組みなどを検討してもらいたい。

#### 【グループ2】

- ・知的障害者と身体障害者の両方に、「18歳の壁」がある。18歳までの児童に関しては手厚いサポートがあるが、高校卒業後は親の負担が増え、親が就労を諦めてしまう事がある。
- ・知的障害児の放課後デイサービスは、障害が重ければ重いほど受け入れてもらうことが難しく、家族介護を余儀なくされることがある。
- ・生活介護で医療的ケアが重いと、障害者通所支援施設になかなか受け取ってもらえない。行くべき子が行けていない。

- ・放課後デイサービスも生活介護も、障害の重い子でも受け入れてもらえるよう、ポイント制にしたらどうか。また、予算、人材を確保していただき、障害の重い子たちが行ける施設に変わってほしい。
- ・世田谷区では週5日通えていたサービスが江東区では週3日しか通えない。さらに、看護師不足のため親も送迎バスに同乗しており、就労を諦めた。
- ・障害者手帳を申請するため、保健相談所に休みを取っていく必要があるので、夜間窓口を設けてもらいたい。
- ・自治体で、統合失調症の特徴について周知してほしい。
- ・身体障害者手帳の支給対象として紙おむつだけでなく、おしり拭きも含めてほしい。

### 【グループ3】

- ・少しでも認知症になると、ネット上で区の支援情報等を探すことが大変なので情報を探しやすくしてほしい。また、パンフレット等、紙媒体での情報提供も無くさないでほしい。
- ・障害者や認知症に対する支援について知らない方が多い。
- ・1人暮らしの男性の高齢者の中には、家に籠っている方も多い。そういった人たちにどうやって外に出てもらおうかが課題。他人との会話が苦手な人の場合、1人で黙々と打ち込めるジム等での運動が外出のきっかけになるかも知れない。
- ・団地やマンションのフリースペース、スーパーマーケットの一部などに、フリーマーケット、学び場、健康診断、花壇の管理など人と人がつながりあえる場所をつくってほしい。
- ・マンションでの防災訓練に外国人や要支援者にも参加してもらおうとき、コミュニケーションを図るにはどうしたらいいかわからない。要支援者の個人情報の面なども考えていく必要があると思う。

### 【グループ4】

- ・高齢者・若年層・外国人の地域別人口分布など、地域特性を考慮した福祉サポートが必要。
- ・亀戸駅が障害者や高齢者にとって歩きづらいため、駅のバリアフリー化を進めてほしい。
- ・精神疾患の方が増えてきているので、安心して行ける場所を提供してほしい。認知症カフェはあるが、見た目が若く周囲に理解してもらいづらい若年性認知症の方は、認知症カフェに行きづらい。区内に、もっと集いやすい場所を増やしてほしい。
- ・町会、自治会、長寿サポートセンターの機能が知られていない。それぞれの活用方法の周知が課題である。無関心な人たちにも届く情報発信が必要。
- ・長寿サポートセンターを知ってもらい、徘徊している高齢者がいた時などに対応してもらえるよう、近所の人やスーパーの店員さんなどに周知するのも有効だと思う。
- ・互助的な福祉を推進するために、若い人や近所付き合いが苦手な人に対するアプローチの仕方を考える必要がある。

- ・ 互助を目的とした地域の人たちの話し合いの場をつくる事は簡単ではないため、区や社会福祉協議会にもサポートをお願いしたい。その話し合いの場所には、独居の人だけではなく、家族がいても孤独を感じている人にも参加してほしい。

## 令和7年度「こうとう未来ミーティング」特別回 実施結果

テーマ：未来の女性活躍

開催日：令和7年7月23日(水曜日)

会場：江東区文化センター 展示室

参加人数：23名(江東区に所在する高等学校の女子生徒の皆さん)

実施形態：参加者によるグループワーク(意見交換)



### ■主なご意見・ご提案等

#### 【グループ1】

- ・たばこ休憩やお酒の付き合いなど、仕事外での関係性の構築に女性は入りづらい。これは、女性の活躍において障壁の一つだと思う。
- ・職場で男女関係なく良好な人間関係を築くために、コミュニティの形成を組織的に取り組んではどうか。気軽に参加できる、スキルアップのための勉強会など。
- ・子育ては女性の活躍推進において壁になってしまうかもしれないため、柔軟な働き方を取り入れることが必要。
- ・オンライン会議が推進されていますが、環境の確保が難しいことがあります。例えば、周囲の工事の音や、こどもの声が気になる場合もあるため、会社がオンライン会議の環境整備に協力してほしい。
- ・女性が働きやすい環境として、会社内に託児所をつくることも解決策だと思う。
- ・女性の取得率が低い資格もあると思うので、資格取得の支援も大事だと思う。
- ・理系女子向けの就職等に関する説明会を開いてほしい。
- ・女性の活躍については、言語の違いがあるとより難しいと思うので、外国人女性への支援はどのようなものがあるのか知りたい。

#### 【グループ2】

- ・子育てと仕事は、まだ経験したことがないためイメージが湧かず、不安を感じている。
- ・女性管理職の割合や立ち位置、生涯年収などに不安がある。
- ・男性の育児参加、教育費に関する金銭的な支援、シングルマザーへの支援など、仕事と子育てに関する不安要素が多い。

- ・高校生向けのキッズニアをつくってほしい。例えば、男性の育児参加率を上げるために、男子高校生に対して育児に関する説明を行ったり、疑似体験をしてもらう。女性も男性同様、高校生向けキッズニアでの経験により、高校生でも子育てや仕事に対する不安を減らせるかもしれない。
- ・理系の先生には女性が少ないので、増やしてもらいたい。

### 【グループ3】

- ・生理に対する男性の理解が十分ではない。
- ・女性が働きやすい環境づくりが必要。
- ・社会人の成功像として男性が挙げられることが多く、男性優位な考え方がある。
- ・女性特有の特技（強み）の活かし方や、豊富な働き方について知りたい。
- ・女性が活躍するためには、育児や介護に関するサポートが必要。
- ・偏見をなくすことが必要。
- ・女性自身も考え方を見直さないといけないことがある。

### 【グループ4】

- ・女性管理職が少ない現実はあるが、管理職が女性特有の事情（体調等）によって休むと、会社として困る面もあると思うので、少ない理由も納得できる。
- ・テレワーク等を活用し、自分が働きやすい時間帯に働いて、1日の合計勤務時間で考えられるといいと思う。
- ・介護職が減っていると思うが、人間関係のトラブルや賃金が低いことなどが要因ではないか。
- ・比較的給料が低いというイメージがあるため、介護職への就職をためらってしまう。
- ・結婚や出産を考えている人が減っている。結婚が減るとウエディング関連の仕事が無くなってしまわないか。
- ・グループ内5名のうち、結婚したいと考えている人は4名であったが、出産については全員「一旦考えたい」という結果であった。
- ・生理については、個人差があるが、学校生活、テスト期間、プライベートなど、容赦なくやってくるのでしんどい。子育てをしていなくても生理はあるので、支援の充実が必要。
- ・育休の取得は女性に多いイメージがある。
- ・男性が育休を取ったとしても、こどもが食べてはいけないもの等、子育てに関する知識が足りず、こどもが危険に晒される場合がある。
- ・女性にしかできないこともあるが、力仕事やこどもの看病など、男性でもできることは男性にやってもらいたい。
- ・出産は女性にしかできないので、女性への支援は充実させてほしい。
- ・大工に興味があったが、力仕事かつ危険なイメージがあるため、難しいと感じている。

- ・理系女子の集まりをつかってほしい。

## 令和 7 年度第 4 回「こうとう未来ミーティング」実施結果

テ ー マ : 観光振興

開 催 日 : 令和 7 年 8 月 23 日(土曜日)

会 場 : 東京深川モダン館 多目的スペース

参加人数 : 13 名(内、オンライン参加 1 名)

実施形態 : 参加者によるグループワーク(意見交換)



### ■主なご意見・ご提案等

#### 【グループ1】

- ・ 木場公園の「早咲き桜」や古石場川親水公園の「牡丹園」など、魅力のあるスポットに飲食店や美術館などを集め、大きな公園をつくるという構想を打ち出したい。
- ・ 江東区に所縁のある人物等を起用した、区独自のデザインマンホールを設置してほしい。
- ・ 区外の方々に江東区の行事（江東区民まつり中央まつり等）があまり知られていないので、区外にも積極的に広報・PR できる仕組みが必要。
- ・ 区外から転入者が増えているが、江東区の歴史を知らない人も多い。そこで、観光ボランティアガイドが江東区の歴史について語る機会を設けてほしい。

#### 【グループ2】

- ・ 江東区の知名度は低いため、どうやって知名度を上げていくかが課題。
- ・ 江東区内を巡るとき、交通の利便性が悪いため、バスの 1 日乗車券を活用するなどの工夫が必要。
- ・ 昔ながらの下町文化と豊洲などの先端的な文化がうまく組み合わせると良い。
- ・ 資料館巡りなどの観光ルートの中に、相撲部屋見学を組み込んではどうか。
- ・ 障害者の方々が描いたアートが非常に有名なので、PR すべき。
- ・ 観光資源としての河川について、野鳥やカニなど自然の魅力を活かすために、濁っている川の水を綺麗にしてほしい。
- ・ 外国人が喜んでくれそうな、深川八幡祭りや桜のスポット、豊洲市場でのマグロの解体

ショーなどを活かした、外国人観光客向けのコンテンツをつくってはどうか。

- ・ 江東区の「食」も魅力的であるため、商店街、居酒屋、ワイナリー、カフェなども推してほしい。

### 【グループ3】

- ・ 観光の目的は「来てもらうこと」「楽しんでもらうこと」であることを念頭に置くべき。
- ・ 観光ガイドの力を最大限活かすために、区には観光ガイドの実態把握と支援をお願いしたい。
- ・ 外国語ボランティアガイドに対して、資料館利用を割引するなどのサポートをしていただけると活動幅が広がるため、外国人観光客へのPR不足解消につながるのではないか。
- ・ 区報はもちろん、一般紙など他の媒体でも江東区の観光について取り上げてもらうことが必要。その中で、区が取り組んでいる学生広報サポーターによるInstagram等によるPRは頼もしいと感じた。
- ・ 観光における他区との協働関係構築によって、観光ガイドが地域をまたいで気軽に活動できる環境をつくってほしい。
- ・ 「海の森公園」がオープンしたが、アクセスが不便で行きづらい。バスはあるが、利便性に欠けるため、行きやすくするための環境整備が必要。